

びわこ成蹊スポーツ大学 2025年度グローバル・アクティブラーニングプログラム

No.	プログラム名	内容	担当教員	定員	実施時期	実施場所	概算費用		
							総額	奨学金	学生負担
1	アジアスポーツビジネス見学（韓国）	<p>韓国のプロ野球およびeスポーツビジネスの現場でのフィールドリサーチを主に日本スポーツビジネスとの違いや類似点、特に、IT技術を用いたビジネスの事例から今後の日本のスポーツビジネス業界における新しい知見を考察することができる。また、スポーツビジネス業界へ就職を希望する韓国大学生との交流を通じて異文化コミュニケーション経験および両国のスポーツビジネスについて積極的に議論することができる。</p> <p>【現地行程】</p> <p>1日目：韓国大学生との交流会 消費者として、業界希望者としての韓国スポーツビジネス業界の概要や事情について理解、外国語を通じたコミュニケーション経験</p> <p>2日目：eスポーツ関連施設見学、観戦 日本との比較に加えて、韓国ならではの施策や日本で応用可能な内容について観察しながらリサーチ、体験</p> <p>3日目：スポーツエンタテインメントビジネス見学 世界的な展開が進む韓国のスポーツエンタテインメントビジネスを実際に体験し、日本との違いや今後の展望について考察</p> <p>4日目：KBO興行試合観戦およびスタジアムツアー（Incheon SSG Landers Field） 世界初のスタジアム内スタバックスコーヒー店舗運営やスポンサーシップ事例を体験、考察</p> <p>5日目：KBO興行試合観戦およびスタジアムツアー（Suwon kt wiz Park） スポーツビジネスにおけるデータ、AI、5Gを用いたスタジアム運営の事例を体験、考察</p>	明 世熙	10	2025年8月27日～9月1日 (6日間)	韓国 (ソウル)	¥132,000	¥-26,000	¥106,000
2	アジアスポーツビジネス見学（台湾）	<p>台湾のプロ野球ビジネスの現場でのフィールドリサーチを主に日本スポーツビジネスとの違いや類似点、特に、2024年開業した台北ドームを核とした周辺開発、チャリダーをコンテンツとして用いたビジネスの事例から今後の日本のスポーツビジネス業界における新しい知見を考察することができる。また、本学の協定校である台湾国立体育大学の学生との交流を通じて異文化コミュニケーション経験および両国のスポーツビジネスについて積極的に議論することができる。</p> <p>【現地行程】</p> <p>1日目：CPBL興行試合観戦（Taipei Dome） 台湾初のドーム球場の見学および日本ドーム球場との違いについて見学、体験</p> <p>2日目：台北ドーム周辺開発見学 台北ドーム近隣の商業施設、Songshan Cultural and Creative Park周辺の開発について事例見学</p> <p>3日目：CPBL興行試合観戦（Rakuten Taoyuan Baseball Stadium） 台湾のプロ野球ビジネス体験、日本と異なるビジネス展開について事例見学</p> <p>4日目：台湾国立体育大学との交流 アイスブレイク、各自体験したスポーツエンタテインメントについて意見交換、研修の振り返り、簡単なスポーツ交流実施</p>	明 世熙	10	2025年9月13日～9月18日 (6日間)	台湾 (台北)	¥151,000	¥-30,000	¥121,000
3	メルボルン・ヴィクトリア大学および近隣小学校でのスポーツ文化研修	<p>本学はオーストラリア・メルボルンにあるヴィクトリア大学と国際交流協定を結んでいる。ヴィクトリア大学にはスポーツバイオメカニクスやスポーツ生理学の研究室があり、最新の研究が行われている。本研修では、ヴィクトリア大学で最新の研究に触れ、現地教員やスタッフとディスカッションを行うことである。また、スポーツのワークショップを行い、近隣の小学校の授業に参加し、体育の授業見学や日本語の授業の補助をすることで、オーストラリアの小学校の体育・スポーツ文化に触れる。</p>	高橋佳三	10	2026年3月12日～3月19日 (8日間)	オーストラリア (メルボルン)	¥330,000	¥-66,000	¥264,000